

東三河北部構想区域における具体的対応方針について

資料2-1

「具体的対応方針」とは、以下の内容について、毎年度、地域医療構想推進委員会で取りまとめるものです。
 ① 2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
 ② 2025年に持つべき医療機能ごとの病床数

下の表をご確認いただき、別紙にご回答ください。
 なお、病床の必要量（必要病床数）を含め、昨年度から変更はありません。

構想区域	医療機関名	2025年において担う役割の方針 ※令和3年10月現在の愛知県地域保健医療計画 別表より作成											2025年に持つべき病床数の方針 (病床数は暫定数)								
		がん	脳卒中	心血管疾患	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	その他(地域医療支援病院)	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等 (無回答含む)	介護保険施設等 へ移行		
東三河北部	新城市民病院	●	●		●	●	●	●	●				199	0	114	85	0	0	0		
		構想区域計 (2025年における病床数の必要量における割合)											199 (74.5%)	0 (0.0%)	114 (110.7%)	85 (121.4%)	0 (0.0%)	0	-	0	-
		2025年における病床数の必要量											267	19	103	70	75	-	-	-	-

※上表に昨年度から変更はありません。

※上表に昨年度から変更はありません。
 ※休棟病床（26床）は回復期に含まれています。